

意見交換会実施報告書

| | |
|-------------------|--|
| 開催日時 | 平成25年11月11日 午後7時 ～ 午後9時 |
| 開催場所 | 美麻公民館 |
| 出席議員 | 二條 孝夫（責任者、報告者） 岡 秀子（司会） 太田 昭司（記録者） 神社 正幸（記録者） 平林 英市（報告者） 竹村 武人 |
| 参加市民数 | 19人 |
| 議会報告内容 | 平成24年度決算の概要について 昨年度のご意見・ご要望の検討状況について 議員定数等について |
| 意見交換内容 (要望提言等) | <p>美麻福祉企業センターについて</p> <p>○発言1 美麻福祉企業センターは築40年となり、名称の変遷はあるが、50年間美麻地区で運営されてきており、地区では雇用が多い施設である。この度、改築するにあたって測量も行われてきていたが、今はまったく行われていない。議会では改築について議決を経ていると聞いているが、なぜ立ち消えになっているのか。なんとしてもこの施設を美麻地区に残して、建て替えてもらいたい。これまでの経過と、立ち消えになっている理由を説明いただきたい。</p> <p>☆回答1 この施設は、美麻地区にとって大事な施設であり、老朽化についても把握している。確かに、新たな土地に改築することが議決されている。議会でも、長野市方面の企業からも受注していることもあり、やはり美麻にあった方がよいなど、様々な意見があった。</p> <p>○発言2 旧大町市内に新たな施設を建設し、そこへ福祉企業センターを併設するということも言われているが、本当か。</p> <p>☆回答2 議会でもそのような議論があり、なぜ美麻でなければいけないのか、また、もっと多くの人が通いやすい場所がよいという意見もあった。また、長野市からも仕事を受注していること、バスで送迎も行われていることもあり美麻がよいという意見もあった。</p> <p>○発言3 なぜ、旧大町市内の人が、美麻地区まで来て働かなければいけないのか。仕事が無くなったからといって、なぜ美麻の施設まで来るのか。美麻で多額のお金を使って建てた憩いの施設を、企業</p> |

センターとして使うなんてばかな話はない。市長にも直接談判した。この施設を旧大町市内に持っていくなんて議会のやることではない。この企業センターは、努力して仕事を取ってきているから仕事がある。

市長の話によると、議会の反対にあい、美麻地区の外へ施設を持っていくと聞いているが、本当か。

☆回答 3

美麻地区以外に施設を建設するという話は聞いていない。現在施設がある場所の道を挟んで向い側の土地に、新たに建設する計画と聞いている。

市長の発言については承知していないが、行政側に確認していきたい。

人件費について

○発言 4

決算の説明があったが、この中で人件費が一番多い。なぜ16.6%もあるのか。これは問題だ。

☆回答 4

確かに歳出の16.6%を占めているが、市は職員数を減らしてきており、人件費も減っている。また、ご承知のとおり、この度の国の交付税削減方針を受けて、職員の給与を減額している。

○発言 5

議員が報酬を減らせないから、職員の給与も減らせと言えないのではないか。

☆回答 5

確かに人件費は多くを占めているが、職員の中でも、非常勤の職員は、一般職と同じ仕事をしながらも非常に安い給与で働いている。また非常勤の数も多い。また、職員及び特別職の給与減額されることから、今年10月から来年3月まで、議員報酬も減額することとした。単に職員を減らすだけではなく、非常に厳しい状況で働いている職員もいることも考慮しなければいけない。

○発言 6

市の職員は、すぐに見積りを出せと言う。50万円や60万円ならともかく、1万円や2万円でも見積もりを出せというのはおかしい。仕事がないから、いかにも仕事をやっているように見せて、事務費ばかり使っている。

☆回答 6

市民サービスを行っているのが公務員であり、一概に減らせというのは問題があり、かなり減らしてきている。また、見積もりの件については、競争原理の上からも必要ではないかと考える。

地元議員の出席について

○発言 7

できたら、この席に地元の議員にも来てもらいたかった。地元の議員でないと分からないことも多い。

☆回答 7

18名の議員が3グループに分かれて、毎年順番で市内6地区を回り、意見交換会を開催しているので、必ず美麻地区でも地元議員の順番が回ってくる。

ぽかぽかランドのボイラーについて

○発言 8

国の支援を受け、また過疎債も利用し、ぽかぽかランドにチップボイラーを導入する話が進んでいたが、大町市と合併して、必要ないということになったらしい。いま、チップもだぶついていると聞いており、供給は十分できるはずではないか。

☆回答 8

議会でも議論があり、環境面からチップボイラーを導入すべきとする意見やランニングコストと供給面から灯油ボイラーとする意見があった。

高規格道路について

○発言 9

高規格道路の大町市内ルートがはっきりしていない。ルートを早く決めないと、道の駅の場所も決まらない。大町市が安曇野市や松川、白馬、小谷に先駆けて、もっとリーダーシップをとるべきだ。

☆回答 9

現在のところ、県の基本的な考え方として、安曇野市から高瀬川右岸を通るBルートとすることが決まっている。また、市では、市内については東側ルートが望ましいと結論を出した。美麻地区・八坂地区からもアセスしやすい。

安曇野市明科地区では、10回以上も説明会が開催されているが、この地区には田んぼがあり、押野地区も盛り土にすることで反対の声が多く、安曇野市も慎重姿勢と聞いている。

大町市議会には高速交通網対策特別委員会があり、県知事にも何度も要望へ伺っている。

美麻地区の山間地農業について

○発言 10

市全体の休耕地は880町歩というが、そのうちの半分以上の490町歩が美麻地区だという。美麻地区から転出する人の中には、農地に木を植えてしまい、地目は変わらずに農地であるが、

現況は山林になっている。そのような土地については、市では、地目は農地のまま、課税は山林として課税している。農業委員会としても、森林編入してしまおうという動きもある。実際はなかなか簡単にはできない。美麻地区で地籍調査をやっているが、ぜんぜん進んでいない。これが進めば、ある程度山林として登記してもらえる。早く進めてほしい。田んぼを借りたくても「こんなにも有休農地があるのに、なぜ借りるんだ」と言われてしまう。美麻の地籍調査専属の職員を置いてほしい。

☆回答 1 0

ご意見として、行政側に伝える。

意見交換会での意見について

○発言 1 1

意見交換会で出た意見は、どのように扱われるのか。ただ聞くだけなのか。

☆回答 1 1

ご意見をただ聞くだけではなく、政策調整委員会で細かくまとめ、行政側に伝えるものと議会で対応するものに分けている。議会で対応するものは各常任委員会に振り分け、回答については、インターネットでも公開している。

定住促進について

○発言 1 2

市内に定住してくれる人に、20万円や30万円の補助金を出すだけではだめで、もっと大事なことは、この人たちに仕事を与えることである。大町には働くところがない。

☆回答 1 2

ご意見として承る。

○発言 1 3

20年後、30年後のことを考えると、子どもたちが将来、大町に戻ってきてくれることの方が大事である。大町では、地元の人でさえ仕事を探すのも大変だ。市外まで働きに出ている人もたくさんいる。むしろ、そういう仕事の世話よりも、子どもたちが「ここへ来てよかった」と思ってくれることが大事だと思う。小さい時の経験が大事だと思う。

☆回答 1 3

ご意見として承る。

コミュニティスクールについて

○発言 1 4

コミュニティスクールがスタートする。現実には、推進員も高齢

化して大変である。本当は大町市と合併した時に、旧大町市内でやりたかった。嫌とかではなく、非常に不安がある。ぜひ議員としても協力いただきたい。

☆回答 1 4

小規模特認校ということで、旧大町市内からも美麻地区へ生徒が来れば、22～23名のクラスになることも可能である。そのためには、魅力ある学校にしないといけない。ある県には、1100人の小中一貫校がある。そこでは確実に非行や登校拒否も少なくなっている。生徒の挨拶もすばらしい。充実した勉強をしている。

○発言 1 5

美麻のコミュニティスクールが、大町全体のモデルケースになればと思っている。中には、なぜ美麻だけなのか、と言う人もいるが、まずはどこかが始めて、いいか悪いかを判断してもらわなければいけない。議会のお力添えをお願いしたい。

☆回答 1 5

美麻は、人口対策にしても教育が重要になる。コミュニティスクールについては、ぜひとも成功するよう期待している。

○発言 1 6

コミュニティスクールの推進員、10数名いるが、手弁当で視察にも行っている。地域のみなさんにもコミュニティスクールについて理解してもらえるように説明している。これは大町市全域でやるべきだ。外からの視察は多く来るが、大町の議員は全然来ない。関心があるのか疑問。コミュニティスクールのために何か始めたいと思っても、予算も少ない。

☆回答 1 6

コミュニティスクールについて、これからがスタートとなる。皆で知恵を絞ってよいものしていきたい。

ぽかぽかランドについて

○発言 1 7

ぽかぽかランドは、お陰さまで今年で20周年となる。経営者も何度か変わり、経営は大変と聞く。美麻地区からこのぽかぽかランドが消えてしまわないように、ぜひ議会としてもご努力いただきたい。

☆回答 1 7

ぽかぽかランド、明日香荘、ゆ〜ふる木崎湖などの指定管理施設は、運営経費を市が負担している。地域が活性化するためにはどうしても必要な施設であることは十分承知している。

意見交換会の開催意義について

○発言 18

議会、議員の仕事として一番大事なことは、市長のチェック機関としての仕事だ。今日の意見交換会の連絡は、議会からではなく、支所を通じてだった。ホームページや新聞でも、意見交換会については知ってはいたが。市議会の姿勢としてどうかと思うがいかがか。また、私には支持する議員がおり、その議員に対して意見を言うことはいいと思うが、議会全体と住民とが意見交換会をやること自体に違和感がある。議員によって考え方が違う。それでもこのような意見交換会をやる意味があるのかお聞きしたい。

☆回答 18

確かに、議員それぞれ考え方が違うが、この意見交換会に臨むにあたり、原則として、議会全体の一致した見解を述べることとし、個々の議員の考えを問われた場合に限って、個々の意見を述べることとしている。また、「議会は行政のチェック機関である」とともに、このように市民の皆さんのご意見をお聞ききして、政策に反映し、実現していくことも大事な仕事である。

意見交換会の開催通知について、議会でもいろいろと工夫はしている。自治会を通じてお知らせしたり、議員個々で知人、友人に伝えたりしているが、それでもなかなか周知できない。

公営簡易水道事業について

○発言 19

決算認定の市議会からの意見の中で、「公営簡易水道事業特別会計」の1番目に、「将来の上水道使用料金統一に向けて、課題を整理し検討されたい」とある。水は生活そのものであり、住民福祉の立場から議論を進めてもらいたい。そうでないと、美麻地区の住民は納得できない。

☆回答 19

ご意見として、行政側に伝える。

しらかば保育園改築事業について

○発言 20

議員より「競争原理は大事だ」とのお話があったが、以前、競争原理が働かなかったことについて、大町市が裁判の当事者になったことがあった。その時、議会の統一見解として、競争原理が働かなくてもしょうがないじゃないかということになった。

競争できない図面を出したことにより、正しい図面で入札されなかった。初めに出した設計通りに建てられていない。とても競争原理が働いたという理屈にならない。

| | |
|----------------------|---|
| | <p>☆回答 2 0 しらかば保育園改築事業のことかと思うが、競争原理の問題ではなく、最終的に市に 3 0 0 0 万円の損害を与えたという訴えだったと認識している。ご意見として承る。</p> <p>美麻地区からの陳情について</p> <p>○発言 2 1 農林・土木関係で、美麻地区からたくさん陳情が上がっていると思うが、2 5 年度の市単独の事業として、ひとつも予算がついていない。県の事業はあるが、市単独の事業はない。八坂地区には少しはある。議会としてもしっかり陳情に目を通してほしい。</p> <p>☆回答 2 1 ご意見として承る。</p> <p>議員定数等について</p> <p>○発言 2 2 今回の議員定数等検討委員会の報告の中に、「議員を減らすべきだとの市民の声がある」とあるが、私は本当にそんな声があるとは思わない。また、減らさないなら、報酬を減らすべきだ。人件費が一番多いのはおかしい。</p> <p>☆回答 2 2 議会制民主主義を守るためにも、また若い人が議員になるためにも、ある程度の数の議員は必要である。ご意見として、承る。</p> <p>○発言 2 3 議員が、生活をかけて行政の職員と同じことをやろうとすることがおかしい。議員は専門家ではない方がいい。素人でいい。その代わり、庶民感覚は持っていてもらいたい。お金はいらなから、議員をやっても良いという人が出るべきだ。制度的には、他に職業を持っている人が議員になるというのが本来のあり方だ。</p> <p>☆回答 2 3 若いうちに仕事を辞めて議員になったが、とても生活が苦しかったという議員もいる。最低限の生活ができるだけの報酬は必要という意見もある。また、議員は難しい判断を迫られるため、しっかり勉強していかないと大衆迎合になりやすい。ご意見として承る。</p> |
| <p>その他 特記事項</p> | |

平成 2 5 年 1 2 月 2 4 日

政策調整委員会委員長 様

記意見交換会責任者 二條 孝夫 ㊞